

# 高速道路の休憩施設の不足解消に向けた社会実験

【目的】  
休憩施設等の不足を解消し、良好な運転環境を実現すること。

【内容】  
休憩施設間隔が概ね25km以上、ICからの距離が2km以内の道の駅で、ETC 2.0搭載車を対象に、高速道路を降りて道の駅に立ち寄り、2時間以内で再進入した場合※1には、降りずに利用した料金のままとする。(ターミナルチャージ※2の再徴収をせず、長距離通減※3等も継続)

※1 順方向に向かう場合のみ  
※2 利用1回当たりの料金(高速自動車国道のみ)  
※3 一定距離以上を連続して利用した場合の料金割引措置

【追加箇所】  
全国6箇所の道の駅  
▽道の駅「ふくしま」(福島県福島市)  
▽道の駅「常総」(仮称)「茨城県常総市」  
▽道の駅「おけがわ」(仮称)「埼玉県桶川市」  
▽道の駅「なごか花火館」(新潟県長岡市)

【退出時間の見直し】  
令和4年7月1日(金)0時より一時退出可能時間を2時間から3時間へ延長し、引き続き検証を進めるとしている。

国土交通省は、この空白区間を平減することを目指し、現在全国23箇所の道の駅を対象に、高速道路からの一時退出を可能とする社会実験を実施している。今回、新たに道の駅6箇所を追加するとともに、既存の社会実験箇所を含め、令和4年7月1日(金)0時より一時退出可能時間を3時間から2時間へ変更し、引き続き検証を進めるとしている。

## ETC二輪車限定「ツーリングプラン」

NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本、京都府道路公社および兵庫県道路公社は、ツーリング需要を喚起することを目的に、ETC搭載の二輪車限定の「ツーリングプラン」全20コースを期間限定で販売している。

このプランは最大2日間(または3日間)、対象エリアの高速道路が定額で乗り降り自由となる企画割引商品で(利用する日時や区間によっては通常料金の半額程度となる)、当日の天候などを踏まえ、走行直前でも申し込みできる(利用前のキャンセル料金はかかりません)。

【対象期間】  
令和4年4月25日(月)～10月31日(水) ※北海道の各コースは、令和4年4月25日(月)～11月30日(水) ※新型コロナウイルスの感染状況により、申込受付を一時停止する場合があります。

【対象車両】  
ETC無線通信により高速道路を走行可能な二輪車各コースの申し込み先となるNEXCO各社の公式WEBサイトで会員登録し、その後、利用日、ETCカード情報、ETC車載器管理番号などを入力の上、利用前までに申し込み。

### コース・プラン料金・申込先

コース名	利用期間	プラン料金(税込)	申込先
北海道	(1) 道南・道北コース	3日間	6,100円
	(2) 道南・道東コース	3日間	6,100円
	(3) 関越道・東北道コース	2日間	3,000円
首都圏	(4) 東北道・常磐道コースミニ	2日間	2,500円
	(5) 東北道・常磐道コースワイド	3日間	5,100円
	(6) 東関東道・館山道コース	2日間	2,500円
	(7) 首都圏 東名・中央道コースミニ	2日間	2,500円
	(8) 首都圏 東名・中央道コースワイド	2日間	3,900円
中京圏	(9) 中京圏 東名・中央道コース	2日間	3,600円
	(10) 伊勢道コース	2日間	3,100円
	(11) 東海北陸道・北陸道コース	3日間	5,100円
	(12) 中央道・東海北陸道コース	2日間	2,000円
関西	(13) 名神・北陸道・京都縦貫道コース	2日間	3,600円
	(14) 中国道・山陽道・播但道コース	2日間	3,100円
	(15) 阪和道コース	2日間	2,500円
四国	(16) 香川・徳島・高知コース	2日間	3,100円
	(17) 愛媛・高知コース	2日間	3,100円
九州	(18) 熊本・佐賀・長崎コース	2日間	3,100円
	(19) 熊本・大分・福岡コース	2日間	3,100円
	(20) 熊本・宮崎・鹿児島コース	3日間	4,600円

## 振

高速道路は全国的な自動車交通網の枢要部分を構成し、我が国の国土の骨格を形成する。とりわけ、重要な都市、空港・港湾等の拠点を効率的かつ効果的に連絡する道路で、国民生活や社会経済活動を支え、国土を守る基盤として、社会の発展・成熟に欠くことのできない重要な役割を果たしている。

昭和三十八年に名神高速道路(粟東・尼崎)が開通して以来、東名高速道路や中央自動車道など国土の背骨となる高速道路の整備が進められ、そのストックは着実に増加してきた。

## 高速道路を持続可能なものとするために

高速道路の更新・進化等を継続的に進め、安定的な財源の確保が必要である。昨年8月に取りまとめられた国土幹線道路部会中間答申では、上記の観点から、高速道路の機能を持続可能なものとするための仕

自然災害の激甚化・頻発化、グリ

みならず、更なるモータリゼーションの進展等による渋滞や交通事故の増加に対応するための安全対策や渋滞対策の強化、環境意識の高まりを受けた環境対策の実施、情報通信技術の進展に伴うETCやVICS等の新技術の導入、自然災害の教訓を踏まえ、耐震補強や暫定二車線の四車線化など、その時代の求めに応じて高速道路の機能を強化し、速達性、安全性、快適性等の高速道路が提供するサービス水準を向上させてきた。

高速道路の更新・進化等を継続的に進め、安定的な財源の確保が必要である。昨年8月に取りまとめられた国土幹線道路部会中間答申では、上記の観点から、高速道路の機能を持続可能なものとするための仕

高速道路の維持管理・更新を適切

組みについて、利用者負担を基本とする考え方を示しつつ、現行の償還制度の見直しについて指摘している。

今後、具体化検討が進み、国民生活や社会経済活動を支える高速道路の機能が持続可能なものとなり、次世代に確実に引き継がれるものとなるよう強く期待したい。

また、地方的な幹線道路である地方道路公社が管理する有料道路についても、その機能を持続可能なものとするための更新・進化等の取組が強化され、地域の課題解決にこれまで以上に貢献できるよう、各地域において、活発な議論がなされることを期待したい。

### 高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

- 【工事通行止め】
  - ◇東北中央自動車道 相馬IC～霊山IC  
5月23日(月)～5月27日(金) 各日21:00～翌6:00
  - ◇東北中央自動車道 霊山IC～桑折JCT  
6月6日(月)～6月21日(火) 各日21:00～翌6:00
  - ◇中部横断自動車道 新清水JCT～富沢IC  
6月20日(月)～6月24日(金) 各日20:00～翌6:00
  - ◇中部横断自動車道 六郷IC～増穂IC  
6月13日(月)～6月15日(水) 各日20:00～翌6:00
  - ◇しまなみ海道 生口島道路 生口島北IC～生口島南IC  
5月16日(月)～6月17日(金) 各日21:00～翌5:00
- 【集中工事】
  - ◇名神高速道路 一宮IC～関ヶ原IC  
5月28日(土)0:00～6月17日(金)24:00
- 【リニューアル工事】
  - ◇阪神高速14号松原線 喜連瓜破～三宅JCT  
6月1日(水)4:00～令和7年3月末

### 交通量 全国的高速道路の主な区間

	令和4年度実績①		令和元年度実績②		対比①/②		参考	
	平均日交通量	対比①/②	平均日交通量	対比①/②	令和3年度実績③	対比①/③		
平均日交通量	39,200台/日	77%	50,600台/日	77%	28,900台/日	136%		
(小型車)	32,800	74%	44,100	74%	22,600	145%		
(大型車)	6,400	98%	6,500	98%	6,300	102%		
最大日交通量	53,300台/日	88%	60,600台/日	88%	32,100台/日	166%		

### 混雑状況 渋滞回数

	令和4年度実績①		令和元年度実績②		対比①/②		参考	
	10km以上の渋滞	対比①/②	10km以上の渋滞	対比①/②	令和3年度実績③	対比①/③		
10km以上の渋滞	294回	53%	557回	53%	92回	320%		
うち30km以上の渋滞	27回	53%	51回	53%	6回	450%		

### 《特に長い渋滞発生箇所(各社の上下別ワースト1位)》

会社区分	上下線	道路名	渋滞発生箇所	渋滞日時(ピーク)	渋滞延長	渋滞原因
東日本	下り線	関越自動車道	嵐山PA付近	5月3日(火)10時25分頃	51.9km	交通集中及び事故
	上り線	東北自動車道	久喜IC付近	5月1日(日)17時40分頃	45.0km	交通集中及び事故
中日本	下り線	中央自動車道	藤野PA付近	5月3日(火)7時50分頃	46.2km	事故及び交通集中
	上り線	東名高速道路	美合PA付近	5月3日(火)9時40分頃	39.5km	交通集中
西日本・本四	下り線	中国自動車道	宝塚東TN付近	5月3日(火)10時55分頃	36.5km	交通集中
	上り線	名神高速道路	大津IC付近	5月3日(火)8時00分頃	43.5km	交通集中

### 令和4年4月28日(木)～令和4年5月8日(日):11日間

### ゴールデンウィーク期間中の交通状況(速報)

※比較対象はコロナ禍前の平成31年4月26日(金)～令和元年5月6日(月):11日間  
※(参考比較) 令和3年4月28日(水)～令和3年5月5日(水):8日間

高速道路各社はゴールデンウィーク期間中の高速道路の交通状況の速報値を発表した。ゴールデンウィーク期間の平均日交通量は、39,200台で、コロナ禍前の令和元年度と比べ77%だった。(昨年度の同時期に比べ136%に増加。)また、10km以上の渋滞回数は、294回で、令和元年度と比べ53%だった。(昨年度の同時期に比べ320%に増加。)